

# いろいろな使いかた

## その他設定

便器の水たまり面を下げる  
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)

### 水面下げる

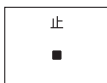
便器とウォシュレットの水を  
一定の間隔で自動で流す

### 凍結防止

電子音を  
鳴らす/鳴らさない

### 電子音

1



と 水勢 +



リモコンランプが  
点灯・点滅するまで同時に押す  
(約10秒)



2

水勢 - 押す

2

水勢 - 押す

2

水勢 - 押す

3



押す

3



押す

3



押す

4



押す

ピッ

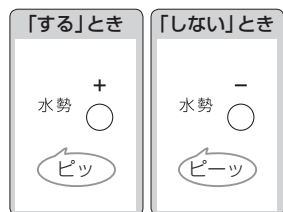
便器内の水が流れて  
低い水位でたまる  
＜設定完了＞

#### お知らせ

- 検便時に使用するときには「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.29)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

2

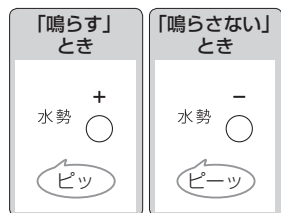
設定したい項目を  
選んでボタンを押す  
・「する」に設定すると、  
約10分間隔で便器洗浄  
して凍結を防止します。



＜設定完了＞

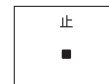
4

設定したい項目を  
選んでボタンを押す



＜設定完了＞

1



リモコンランプが  
点灯・点滅するまで押す(約10秒)

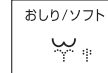


2



押す

3



押す

4



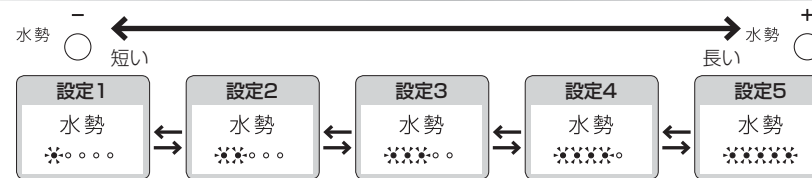
押す

現在の設定が表示されます。

5

水勢 - と 水勢 + で「設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5」を選ぶ

押すたびに切り替わる



(例) 入室時に便ふたが開くタイミング



6



押す

＜設定完了＞

# こんなときは

## 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

### お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.29)「オートふた開閉」(P.31)を「切」にしてください。

## 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

### ■設定のしかた(P.36)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



### 2 ノズルきれい 押す

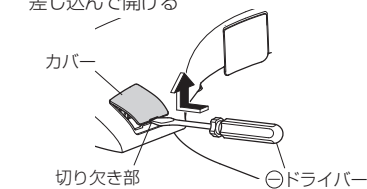
- ・給水管の圧抜き

### 3 電源プラグを抜く

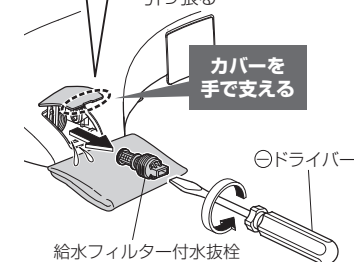
### 4 配管の水を抜く

- ①便座・便ふたを開ける

- ②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける



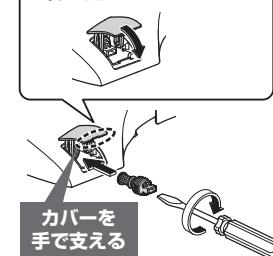
- ③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



### 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

- ②「カチッ」と音がするまで押し込む



### 6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

### 7 流す大 ⑤を押してタンクの水を抜く※1

### 8 便座温度を「高」にする(P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。(P.61)

### お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。